

【同時発表先】

合同庁舎記者クラブ、鳥取県政記者会、島根県政記者会、岡山県政記者クラブ、広島県政記者クラブ、山口県政記者会、山口県政記者クラブ、山口県政滝町記者クラブ、中国地方建設記者クラブ、港湾新聞、港湾空港タイムス、日本海事新聞

平成27年上半年（1月～6月）速報

中国地方の港湾における国際コンテナ取扱貨物量が
対前年同期比6.0%増加！（取扱量過去最高）

中国地方整備局では、中国地方の港湾管理者の調査をもとに、平成27年上半年（1月～6月）の中国地方の港湾における国際コンテナ取扱貨物量（速報値）を取りまとめましたので、概要をお知らせします。

- 平成27年上半年の国際コンテナ取扱貨物量は32.6万 TEU で、対前年同期比6.0%増加
（平成18年の国際フィーダー統計とりまとめ開始以降国際コンテナ取扱貨物量過去最高を記録）
- 平成27年上半年の外貿コンテナ取扱貨物量は25.2万 TEU で、対前年同期比2.1%増加
（参考：日本の五大港湾における外貿コンテナ取扱貨物量は5.2%減少）
- 平成27年上半年の主に阪神港を利用した国際フィーダーコンテナ取扱貨物量は7.4万 TEU で、対前年比22.0%増加
 - 国際コンテナ取扱貨物量の概況 → P1 参照
 - 外貿コンテナ取扱貨物量の概況 → P2 参照
 - 国際フィーダーコンテナ取扱貨物量の概況 → P3～P4 参照
 - 各港における国際コンテナ取扱貨物量の主な増減要因 → P5 参照
 - 国際コンテナ貨物に関する主なトピックス → P7 参照
 - 中国地方の港湾における定期コンテナ航路の就航状況 → P10 参照

<問い合わせ先>

中国地方整備局 港湾空港部 港湾物流企画室（国際コンテナ戦略港湾政策推進室）

TEL：082-511-3928（直通）：（平日・昼間）

室長 ゆうき 由木 まこと 誠 課長補佐 よしだ 吉田 ほうせい 豊成

<広報担当窓口>

中国地方整備局 TEL：082-221-9231（代表）：（平日・昼間）

広報広聴対策官 ひらかわ 平川 まさふみ 雅文（内線2117）

企画部 環境調整官 た お 田尾 かずなり 和也（内線3114）

中国地方の港湾における国際コンテナ取扱貨物量

～ 平成27年上半期速報 ～

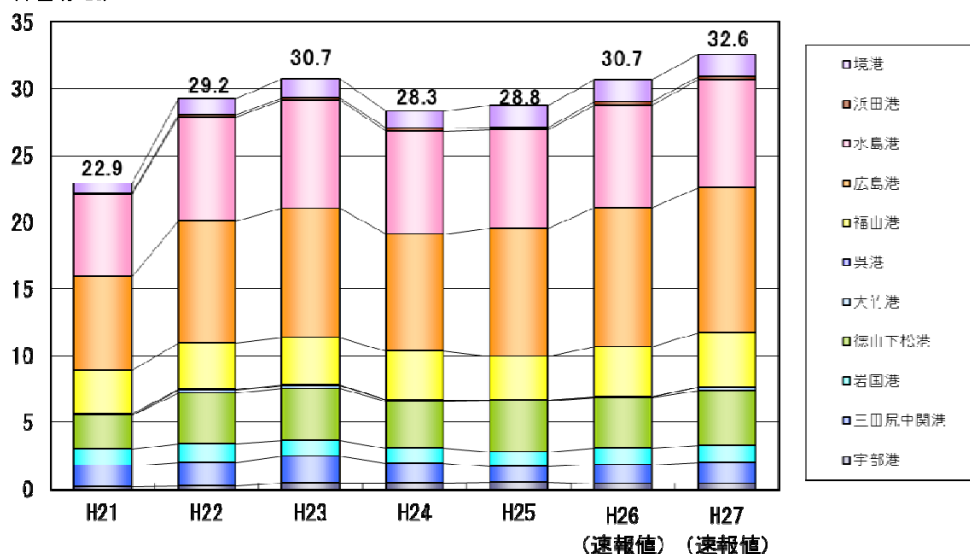
■ 国際コンテナ取扱貨物量

- 中国地方の港湾（下関港を除く、以下同じ。）における平成27年上半期の国際コンテナ取扱貨物量の速報値は32.6万TEU^{*1}であり、前年同期比で6.0%増加しており、平成18年の国際フィーダー統計とりまとめ開始以降最高の取扱量を記録しました。

（図－1、表－1 参照）

※『国際コンテナ取扱貨物量』とは「外貿コンテナ取扱貨物量^{*2}」と「国際フィーダーコンテナ取扱貨物量^{*3}」を足し合わせた取扱貨物量であり、中国地方の港湾を介して輸出入された正味のコンテナ取扱貨物量です。

（単位：万TEU）



図－1【国際コンテナ取扱貨物量の推移】

表－1【港別の国際コンテナ取扱貨物量（空コンテナを含む）】

（単位：TEU）

港 湾 名	平成26年上半期 （速報値）			平成27年上半期 （速報値）			平成26年 からの増減 (TEU)	平成26年からの伸び率		
	合計	出	入	合計	出	入		合計	出	入
境 港	16,401	8,500	7,901	16,405	8,732	7,673	4	0.0%	2.7%	▼2.9%
浜 田 港	2,704	1,313	1,391	2,142	1,046	1,096	▼562	▼20.8%	▼20.3%	▼21.2%
水 島 港	77,172	39,099	38,073	81,197	41,628	39,569	4,025	5.2%	6.5%	3.9%
広 島 港	104,146	52,408	51,738	108,735	54,332	54,403	4,588	4.4%	3.7%	5.1%
福 山 港	37,235	18,054	19,181	40,698	20,075	20,623	3,463	9.3%	11.2%	7.5%
呉 港	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—
大 竹 港	821	645	176	2,595	1,662	933	1,774	216.1%	157.7%	430.1%
徳 山 下 松 港	38,005	24,781	13,224	40,984	27,168	13,816	2,979	7.8%	9.6%	4.5%
岩 国 港	12,094	8,611	3,483	12,531	9,138	3,393	437	3.6%	6.1%	▼2.6%
三 田 尻 中 関 港	14,025	9,426	4,599	16,138	10,714	5,424	2,113	15.1%	13.7%	17.9%
宇 部 港	4,483	2,779	1,704	4,224	2,598	1,626	▼259	▼5.8%	▼6.5%	▼4.6%
合 計	307,086	165,616	141,470	325,649	177,093	148,556	18,562	6.0%	6.9%	5.0%

注1）呉港については、平成24年11月より外貿コンテナ航路が一時休止。

■ 外貿コンテナ取扱貨物量※2

- 中国地方の港湾における平成27年上半期の外貿コンテナ取扱貨物量の速報値は25.2万TEUであり、前年同期比で2.1%増加しています。〔輸出：1.5%増加、輸入：2.9%増加〕

(図-2、表-2参照)

- 外貿定期コンテナ就航航路数は、平成27年6月末時点で韓国、中国、台湾、香港、東南アジア、ロシア、北米方面へ週79.75便が就航しています。これは、平成26年6月末(週78.75便)と比較すると週1便増加しています。

- 平成27年上半期の中国地方の港湾における合計貨物量が増加しているのに比べ、平成27年上半期の日本の五大港の合計貨物量(651万TEU)は、前年同期比で5.2%減少しています。

(表-2参照)

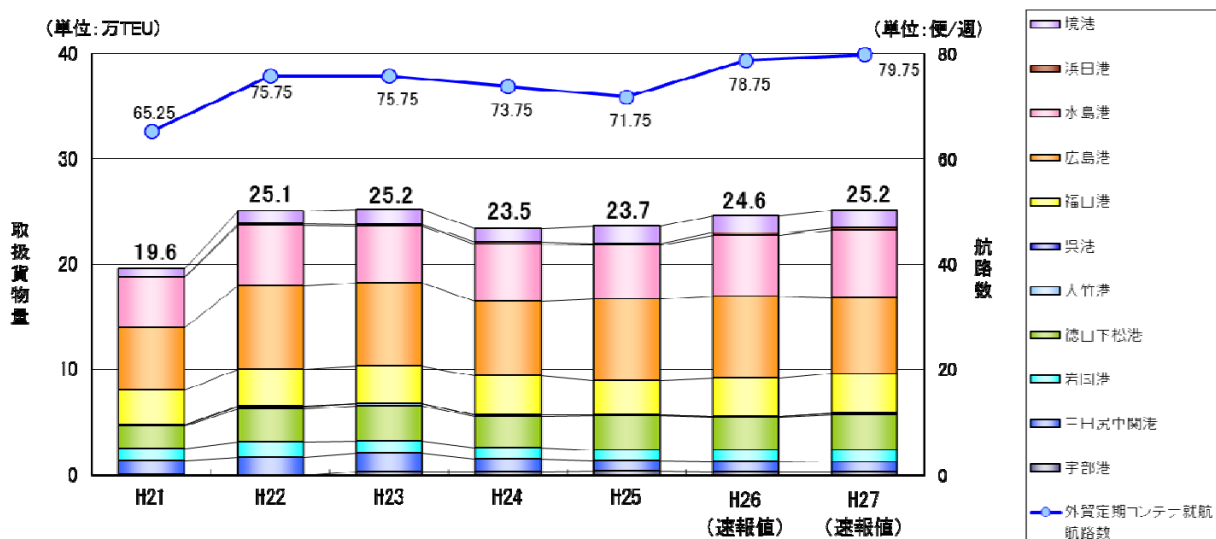


図-2 【外貿コンテナ取扱貨物量と週あたり就航航路数の推移】

表-2 【港別の外貿コンテナ取扱貨物量 (空コンテナを含む)】

港 湾 名	平成26年上半期 (速報値)			平成27年上半期 (速報値)			平成26年 からの増減 (TEU)	平成26年からの伸び率		
	合計	輸出	輸入	合計	輸出	輸入		合計	輸出	輸入
境 港	16,401	8,500	7,901	16,405	8,732	7,673	4	0.0%	2.7%	▼2.9%
浜 田 港	2,704	1,313	1,391	2,142	1,046	1,096	▼562	▼20.8%	▼20.3%	▼21.2%
水 島 港	57,210	29,196	28,014	64,310	32,818	31,492	7,100	12.4%	12.4%	12.4%
広 島 港	77,819	40,848	36,971	72,293	36,417	35,876	▼5,527	▼7.1%	▼10.8%	▼3.0%
福 山 港	35,945	16,806	19,139	37,317	17,182	20,135	1,372	3.8%	2.2%	5.2%
呉 港	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—
大 竹 港	821	645	176	1,496	583	913	675	82.2%	▼9.6%	418.8%
徳 山 下 松 港	31,399	19,915	11,484	33,259	22,203	11,056	1,860	5.9%	11.5%	▼3.7%
岩 国 港	10,754	7,454	3,300	11,606	8,299	3,307	852	7.9%	11.3%	0.2%
三 田 尻 中 関 港	9,855	5,758	4,097	9,499	5,252	4,247	▼356	▼3.6%	▼8.8%	3.7%
宇 部 港	3,453	1,761	1,692	3,238	1,612	1,626	▼215	▼6.2%	▼8.5%	▼3.9%
合 計	246,361	132,196	114,165	251,565	134,144	117,421	5,203	2.1%	1.5%	2.9%
【参考】五大港合計 (単位:万TEU)	687	341	346	651	323	328	▼36	▼5.2%	▼5.4%	▼5.0%

注1) 呉港については、平成24年11月より外貿コンテナ航路が一時休止。

注2) 五大港：東京港、横浜港、名古屋港、大阪港、神戸港

■ 国際フィーダーコンテナ取扱貨物量^{※3}

- 中国地方の港湾における平成27年上半期の、主に阪神港を利用した国際フィーダーコンテナ取扱貨物量は7.4万TEUであり、前年同期比で22.0%増加しています。(図-3、表-3参照)

(単位: 万TEU)

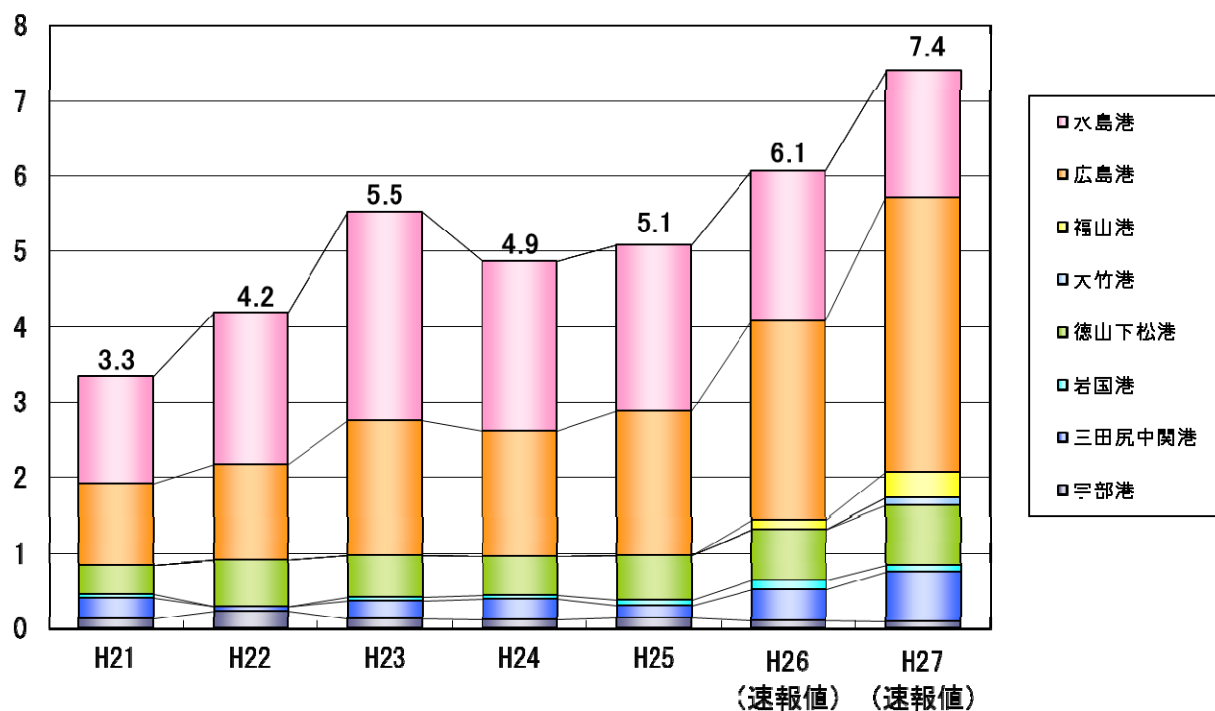


図-3 【国際フィーダーコンテナ取扱貨物量の推移】

表-3 【港別の国際フィーダーコンテナ取扱貨物量 (空コンテナを含む)】

(単位: TEU)

港 湾 名	平成26年上半期 (速報値)			平成27年上半期 (速報値)			平成26年 からの増減 (TEU)	平成26年からの伸び率		
	合計	出	入	合計	出	入		合計	出	入
水 島 港	19,962	9,903	10,059	16,887	8,810	8,077	▼3,075	▼15.4%	▼11.0%	▼19.7%
広 島 港	26,327	11,560	14,767	36,442	17,915	18,527	10,115	38.4%	55.0%	25.5%
福 山 港	1,290	1,248	42	3,381	2,893	488	2,091	162.1%	131.8%	1061.9%
大 竹 港	0	0	0	1,099	1,079	20	1,099	皆増	皆増	皆増
徳 山 下 松 港	6,606	4,866	1,740	7,725	4,965	2,760	1,119	16.9%	2.0%	58.6%
岩 国 港	1,340	1,157	183	925	839	86	▼415	▼31.0%	▼27.5%	▼53.0%
三 田 尻 中 関 港	4,170	3,668	502	6,639	5,462	1,177	2,469	59.2%	48.9%	134.5%
宇 部 港	1,030	1,018	12	986	986	0	▼44	▼4.3%	▼3.1%	▼100.0%
合 計	60,725	33,420	27,305	74,084	42,949	31,135	13,359	22.0%	28.5%	14.0%

- 中国地方の港湾における平成27年上半期の国際コンテナ取扱貨物量に対する国際フィーダーコンテナ取扱貨物量の割合は22.7%となっており、近年では最も高い割合となっています。

(図-4、表-4参照)

- 中国地方の港湾における平成27年上半期の国際フィーダーコンテナ取扱貨物量の港別内訳を見ると、広島港、水島港の2港における取扱量のみで全体の72%を占めています。(図-5参照)

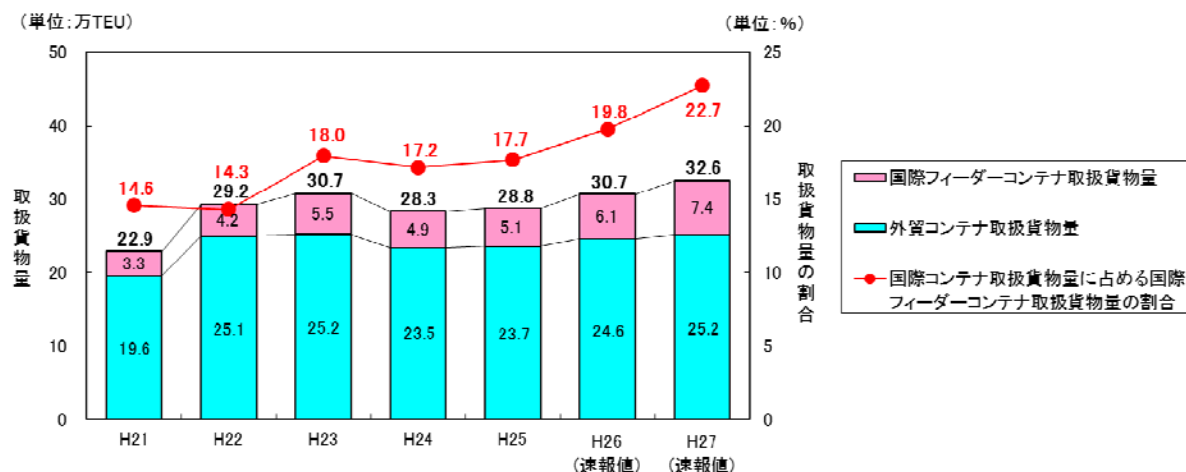


図-4 【国際コンテナ取扱貨物量に占める国際フィーダーコンテナ取扱貨物量の割合】

表-4 【国際コンテナ取扱貨物量と国際フィーダーコンテナ取扱貨物量の推移】

(単位: 万TEU, %)

種別	H21	H22	H23	H24	H25	H26 (速報値)	H27 (速報値)
①国際フィーダーコンテナ取扱貨物量	3.3	4.2	5.5	4.9	5.1	6.1	7.4
②外貨コンテナ取扱貨物量	19.6	25.1	25.2	23.5	23.7	24.6	25.2
③国際コンテナ取扱貨物量 (①+②)	22.9	29.2	30.7	28.3	28.8	30.7	32.6
国際フィーダーコンテナ取扱貨物量の割合 (%) (①/③*100)	14.6	14.3	18.0	17.2	17.7	19.8	22.7

※国際コンテナ取扱貨物量は外貨コンテナ取扱貨物量と国際フィーダーコンテナ取扱貨物量との和

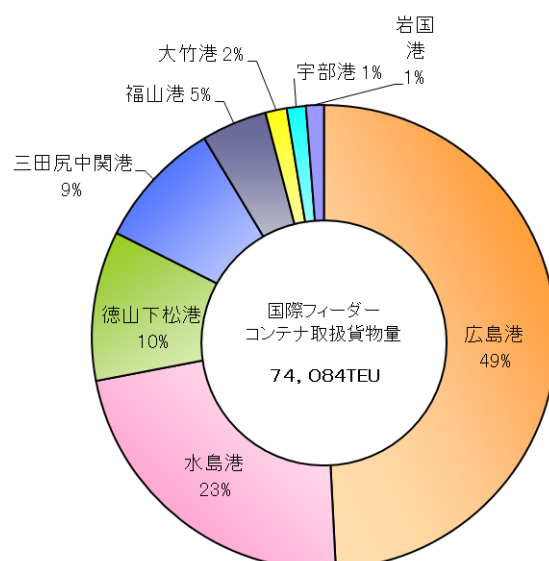


図-5 【平成27年上半期 国際フィーダーコンテナ取扱貨物量の港別内訳】

■ 各港における国際コンテナ取扱貨物量の主な増減要因

平成27年上半期の国際コンテナ取扱貨物量を平成26年上半期と比較し、主な増減要因を以下のとおりまとめました。

△ 境港：4TEU 増（平成26年同期比 増減無し）

韓国・タイ向けの「紙・パルプ」の輸出が減少、中国向けの「紙・パルプ」及び「電気機械」の輸出が増加、韓国からの「非金属鉱物」及び「産業機械」の輸入が増加、中国からの「電気機械」及び「鉄鋼」の輸入が減少しました。

▼ 浜田港：562TEU 減（平成26年同期比20.8%減）

中国・台湾向けの「紙・パルプ」の輸出、中国からの「化学薬品」や韓国からの「染料・塗料・合成樹脂・その他化学工業品」の輸入が減少しました。

△ 水島港：4,025TEU 増（平成26年同期比5.2%増）

中国向けの「非鉄金属」の輸出、中国からの「窯業品」の輸入が増加、東南アジアからの「木製品」の輸入が減少しました。また、国際フィーダーコンテナ取扱貨物量のうち、欧米等向けの「自動車部品」の移出が減少しました。

△ 広島港：4,588TEU 増（平成26年同期比4.4%増）

中国向けの「金属製品」の輸出、中国からの「文房具・運動娯楽用品・楽器」の輸入が減少しました。また、国際フィーダーコンテナ取扱貨物量のうち、東南アジア向けの「自動車部品」の移出、タイからの「自動車部品」の移入が増加しました。

△ 福山港：3,463TEU 増（平成26年同期比9.3%増）

中国向けの「再利用資材」の輸出、中国からの「その他製造工業品」の輸入が増加しました。

△ 大竹港：1,774TEU 増（平成26年同期比216.1%増）

韓国向けの「紙・パルプ」の輸出が減少、韓国からの「樹脂類」の輸入が増加しました。また、国際フィーダーコンテナ取扱貨物量のうち、北米向けの「樹脂類」の移出が増加しました。

△ 徳山下松港：2,979TEU 増（平成26年同期比7.8%増）

中国向けの「化学薬品」の輸出の増加、アメリカからの「再利用資材」の輸入が減少しました。また、国際フィーダーコンテナ取扱貨物量のうち、アメリカからの「再利用資材」の移入が増加しました。

△ 岩国港：437TEU 増（平成26年同期比3.6%増）

台湾向けの「紙・パルプ」の輸出、中国からの「輸送用容器」の輸入が増加しました。また、国際フィーダーコンテナ取扱貨物量のうち、台湾向けの「染料・塗料・合成樹脂・その他化学工業品」の移出、カタールからの「染料・塗料・合成樹脂・その他化学工業品」の移入が減少しました。

△ 三田尻中関港：2,113TEU 増（平成26年同期比15.1%増）

中国向けの「自動車部品」の輸出が減少、中国からの「自動車部品」の輸入が減少しました。また、国際フィーダーコンテナ取扱貨物量のうち、ベトナム向けの「自動車部品」の移出が増加、諸国からの「自動車部品」の移入が増加しました。

▼ 宇部港： **259TEU 減**（平成26年同期比5.8%減）

中国向けの「染料・塗料・合成樹脂・その他化学工業品」の輸出が減少、韓国からの「染料・塗料・合成樹脂・その他化学工業品」の輸入が増加しました。

■ 国際コンテナ貨物に関する主なトピックス（平成27年1月から平成27年9月まで）

【境港】韓国（釜山）航路が減便

- ・境港と韓国（釜山）を結ぶ外貿定期コンテナ航路が平成27年2月に減便となりました。（韓国航路：週5便 → 週4便）

【浜田港】新たな助成制度の創設

- ・平成27年4月より、コンテナ航路を利用する荷主に対して、リーファーコンテナ貨物の輸送費用の助成制度が創設されました。

【水島港】韓国（釜山）航路が増便

- ・平成27年1月、3月及び6月、水島港と韓国（釜山）を結ぶ外貿コンテナ航路が増便となりました。（韓国航路：週8便→週11便）

【広島港】韓国（釜山）航路が減便

- ・平成27年1月、広島港と韓国（釜山）を結ぶ外貿定期コンテナ航路が減便となりました。（韓国航路：週10便 → 週9便）

【福山港】新たな助成制度の創設

- ・平成27年4月より、福山港を利用して混載貨物を輸出する物流事業者に対して、補助制度が創設されました。

【徳山下松港】新たな助成制度の創設

- ・平成27年4月、国際フィーダー航路に対して、新規航路は1年間荷役機械使用料を3割減免、入港料及び係船料を免除、既設航路は荷役機械使用料を2割減免する制度が創設されました。

【岩国港】新たな助成制度の創設、内貿定期コンテナ航路の増・減便

- ・平成27年4月、国際フィーダー航路に対して、新規航路は1年間荷役機械使用料を3割減免、入港料及び係船料を免除、既設航路は荷役機械使用料を2割減免する制度が創設されました。
- ・平成27年4月、内貿定期コンテナ航路（東京・博多）が減便となりました。（東京・博多航路：週3便→週2便）
- ・平成27年5月、内貿定期コンテナ航路（神戸）が2便増便となりました。（神戸航路：週1便→週3便）

【三田尻中関港】新たな助成制度の創設、内貿定期コンテナ航路（神戸）の増便

- ・平成27年4月、国際フィーダー航路に対して、新規航路は1年間荷役機械使用料を3割減免、入港料及び係船料を免除、既設航路は荷役機械使用料を2割減免する制度が創設されました。
- ・平成27年4月、内貿定期コンテナ航路（神戸）が2便増便となりました。（神戸航路：週2便→週4便）

【宇部港】新たな助成制度の創設、内貿定期コンテナ航路（神戸）の増便

- ・平成27年4月、国際フィーダー航路に対して、新規航路は1年間荷役機械使用料を3割減免、入港料及び係船料を免除、既設航路は荷役機械使用料を2割減免する制度が創設されました。
- ・平成27年7月、内貿定期コンテナ航路（神戸）が増便となりました。（神戸航路：週1便→週2便）

参考

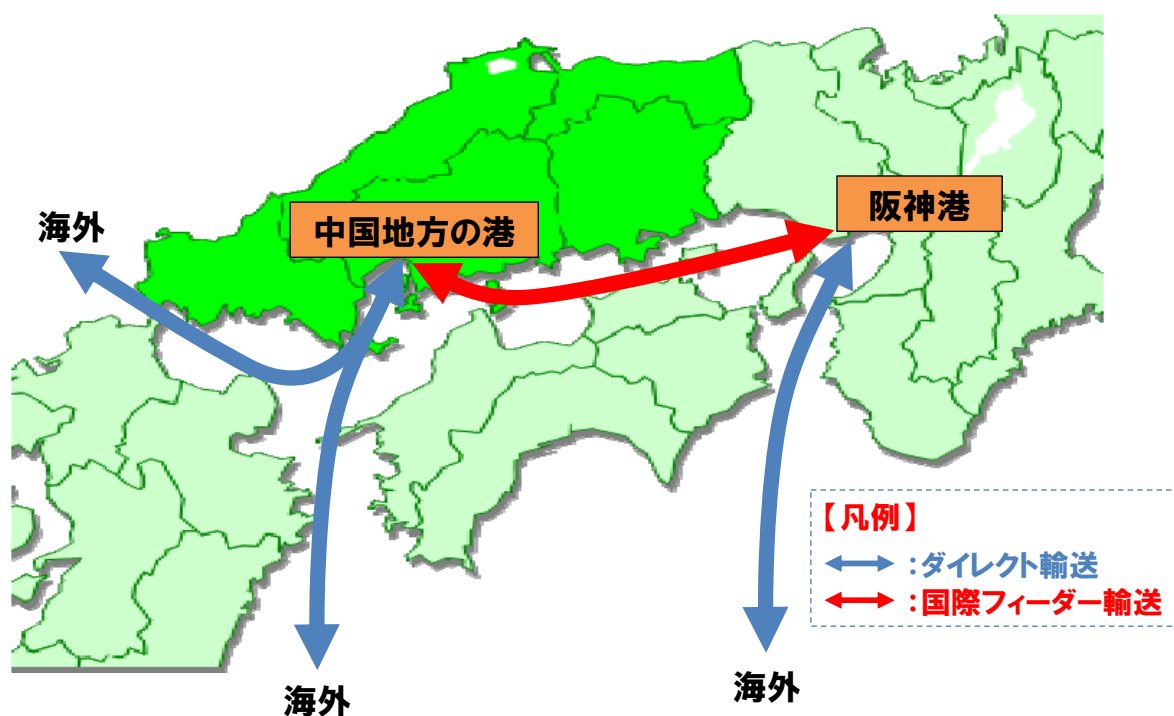
※1 TEU (Twenty-foot Equivalent Units) とは、20 フィート (コンテナの長さ) 換算のコンテナ取扱個数の単位です。国際輸送に用いられるコンテナには主に、20 フィートコンテナ、40 フィートコンテナがあり、40 フィートコンテナ 1 個は 2TEU と計算します。20 フィートコンテナ (長さ約 6.06m×幅約 2.44m×高さ約 2.59m) 1 個の内容積は約 33m³です。



写真 港でのコンテナの取扱状況

※2 外貿コンテナ取扱貨物量とは、日本の港湾 (本文中では中国地方の港湾) と海外の港湾間で直接輸出入される (取り扱われる) コンテナ取扱貨物量を言います。 (下図の「ダイレクト輸送」を参考)

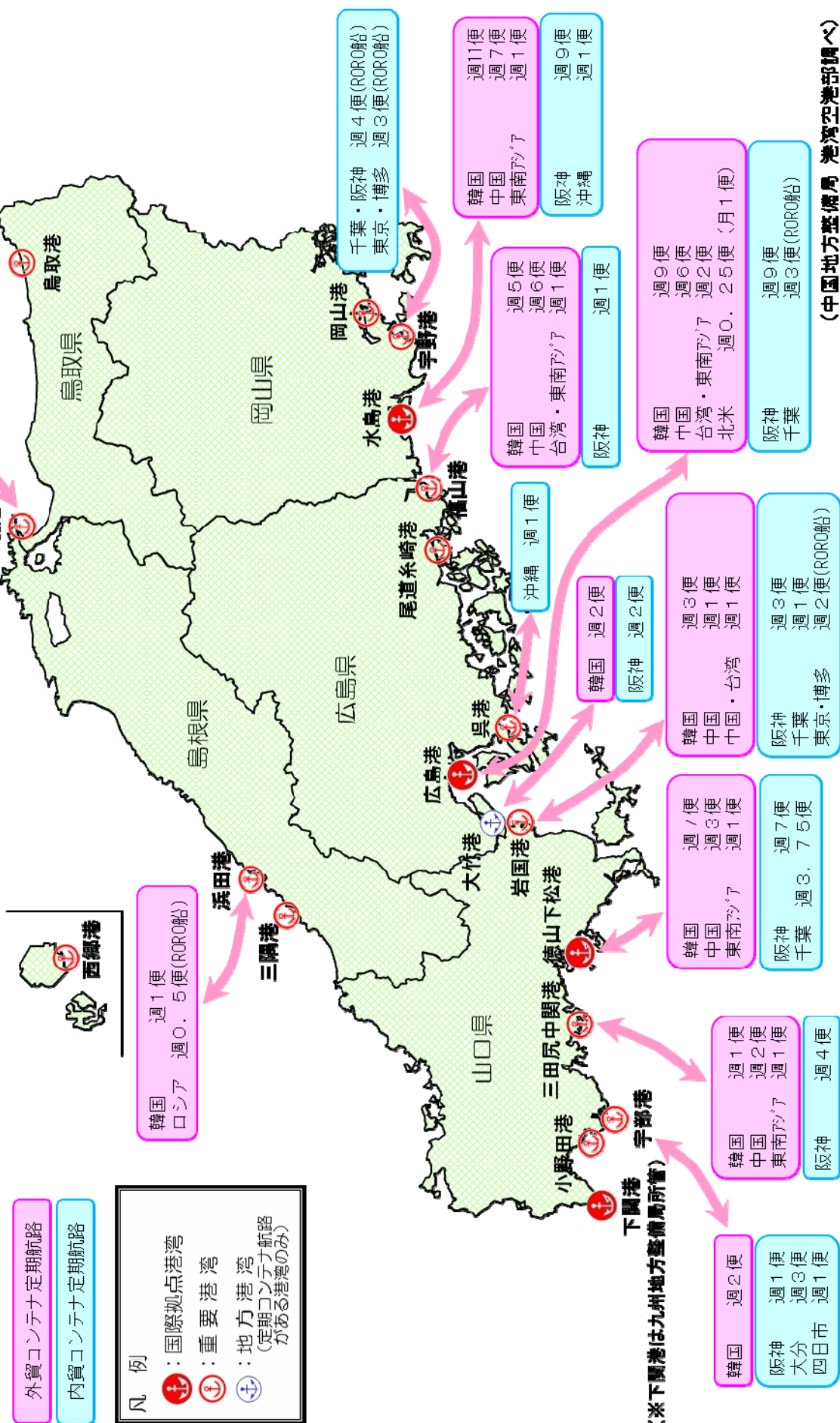
※3 国際フィーダーコンテナ取扱貨物量とは、コンテナ貨物を海外へ輸出する場合、中国地方の港と国内主要港 (阪神港、京浜港等) 間を内航船で輸送した後、国内主要港で外貿コンテナ船に積み替えられて輸出されるコンテナ取扱貨物量を言います。コンテナ貨物を海外から輸入する場合はその逆の流れとなります。 (下図の「国際フィーダー輸送」を参考)



中国地方の港湾における定期コンテナ航路の就航状況（平成27年6月末現在）

外貨定期コンテナ航路 週79.75便
内航定期コンテナ航路 週58.75便

(※DBSクルーズフェリー:コンテナ取扱可能な定期航路)



(※下関港は九州地方整備局所管)

(中国地方整備局 港湾空港部調べ)